



2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 グリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3632 URL http://corp.gree.net/jp/ja/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 良和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員最高財務責任者 (氏名) 大矢 俊樹 TEL 03-5770-9500
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	28,914	△10.3	2,155	8.2	4,960	58.8	4,245	20.1
2020年6月期第2四半期	32,235	△10.2	1,991	△22.8	3,124	5.8	3,536	58.0

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 6,334百万円 (7.9%) 2020年6月期第2四半期 5,873百万円 (173.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	18.89	18.83
2020年6月期第2四半期	15.35	15.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	134,891	114,021	84.1
2020年6月期	126,492	113,406	89.3

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 113,451百万円 2020年6月期 112,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2021年6月期の配当金につきましては、現在未定です。開示が可能になった時点で、速やかにお知らせ致します。

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しく、新規アプリゲームのリリース等による大きな業績変動が見込まれることから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、連結業績予想の開示を見合わせることに致しました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期2Q	242,249,700株	2020年6月期	242,249,700株
② 期末自己株式数	2021年6月期2Q	21,526,670株	2020年6月期	14,768,789株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期2Q	224,781,095株	2020年6月期2Q	230,337,356株

(注) 自己株式数については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式（2021年6月期第2四半期：6,737,242株、2020年6月期：7,013,561株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

我が国における個人のスマートフォン保有率は前年比2.9ポイント増の67.6%（出典：総務省「令和元年通信利用動向調査の結果」）と伸びるとともに、2019年の国内オンラインプラットフォームの市場規模も前年比4.9%増の1兆2,962億円（出典：株式会社KADOKAWA Game Linkage「ファミ通ゲーム白書 2020」）と成長しております。しかしながら、国内外経済は新型コロナウイルス感染拡大により急速に悪化し、経済活動停滞の長期化も懸念され、予断を許さない状況となっております。

このような環境のもと、当社グループはゲーム、ライブエンターテインメント、広告・メディアの各領域で投資を行ってまいりました。主力とするゲーム領域においては、既存のスマートフォン向けアプリゲーム（以下、「アプリゲーム」）の長期運営体制による収益安定化及び海外展開による収益力向上に取り組むと同時に、新規アプリゲームの開発を進めてまいりました。ライブエンターテインメント領域においては、バーチャルライブ配信アプリ「REALITY」の機能強化やコンテンツ拡充を進め、また、広告・メディア領域においては、メディア力の強化とユーザー基盤の拡大を進めてまいりました。なお、当社グループにおける新型コロナウイルスの影響につきましては、広告・メディア領域において一部のメディアで影響を受けましたが、ゲーム領域及びライブエンターテインメント領域への影響は限定的でした。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社出資ファンドが保有株式を売却したことによる投資事業組合運用益3,121百万円を計上し、これらの投資利益等を繰越欠損金に係る繰延税金資産の回収可能性に加味した結果、法人税等の見積実効税率が減少し法人税等が減少致しました。

以上の取り組みにより、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、売上高28,914百万円（前年同期比10.3%減）、営業利益2,155百万円（同8.2%増）、経常利益4,960百万円（同58.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,245百万円（同20.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は134,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,399百万円増加致しました。流動資産は103,986百万円（前連結会計年度末比5,010百万円増）となり、主な増加要因は「現金及び預金」及び「未収入金」がそれぞれ2,080百万円、1,850百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は30,904百万円（同3,389百万円増）となり、主な増加要因は「投資有価証券」が4,592百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては20,869百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,784百万円増加致しました。流動負債は10,521百万円（同1,556百万円減）となり、主な減少要因は「未払金」が913百万円減少したことによるものであります。固定負債は10,348百万円（同9,340百万円増）となり、主な増加要因は「社債」が8,000百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、114,021百万円となり、前連結会計年度末に比べ615百万円増加致しました。主な増加要因は「その他有価証券評価差額金」及び「利益剰余金」がそれぞれ2,095百万円、1,970百万円増加した一方、「自己株式」の取得により3,513百万円減少したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当第2四半期連結会計期間末は84.1%であります。また、支払い能力を示す流動比率は当第2四半期連結会計期間末は988.4%となっております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ2,080百万円増加し、残高は89,099百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、526百万円（前年同期は2,411百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4,396百万円及び売上債権の減少784百万円があった一方、投資事業組合運用益3,121百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、303百万円（前年同期は4,216百万円の獲得）となりました。これは主に、投資事業組合からの分配による収入846百万円及び敷金回収による収入449百万円があった一方、投資有価証券の取得による支出1,601百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は、1,894百万円（前年同期は2,318百万円の支出）となりました。これは主に、社債発行による収入7,958百万円があった一方、自己株式の取得による支出3,769百万円及び配当金の支払額2,274百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、引き続きモバイルを中心にインターネットを通じコンテンツやサービスの拡充を行うと共に国内外のユーザーの利用拡大、及び収益基盤の確立・強化に取り組んでまいります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しく、新規アプリゲームのリリース等による大きな業績変動が見込まれることから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、連結業績予想の開示を見合わせることに致しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	87,018	89,099
受取手形及び売掛金	7,157	6,197
未収入金	1,981	3,832
その他	2,961	4,860
貸倒引当金	△143	△3
流動資産合計	98,976	103,986
固定資産		
有形固定資産	1,996	1,414
無形固定資産		
のれん	164	123
その他	116	29
無形固定資産合計	280	153
投資その他の資産		
投資有価証券	21,070	25,662
繰延税金資産	386	392
その他	3,996	3,489
貸倒引当金	△215	△207
投資その他の資産合計	25,238	29,337
固定資産合計	27,515	30,904
資産合計	126,492	134,891
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	1,005	147
賞与引当金	680	688
拠点再編費用引当金	256	279
未払金	7,125	6,212
その他	3,008	3,193
流動負債合計	12,077	10,521
固定負債		
社債	—	8,000
その他	1,007	2,348
固定負債合計	1,007	10,348
負債合計	13,085	20,869

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,367	100
資本剰余金	2,365	4,632
利益剰余金	114,084	116,055
自己株式	△9,162	△12,676
株主資本合計	109,654	108,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,243	5,339
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	3,244	5,340
新株予約権	466	529
非支配株主持分	40	40
純資産合計	113,406	114,021
負債純資産合計	126,492	134,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	32,235	28,914
売上原価	14,671	13,092
売上総利益	17,563	15,821
販売費及び一般管理費	15,571	13,665
営業利益	1,991	2,155
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	51	0
為替差益	103	—
投資事業組合運用益	971	3,121
その他	8	38
営業外収益合計	1,134	3,162
営業外費用		
為替差損	—	293
支払手数料	0	58
その他	1	5
営業外費用合計	1	357
経常利益	3,124	4,960
特別利益		
投資有価証券売却益	2,529	0
その他	58	—
特別利益合計	2,587	0
特別損失		
固定資産除却損	37	61
減損損失	68	13
投資有価証券評価損	72	40
為替換算調整勘定取崩損	52	—
拠点再編費用引当金繰入額	—	186
違約金	—	230
その他	31	32
特別損失合計	263	564
税金等調整前四半期純利益	5,449	4,396
法人税等	1,914	157
四半期純利益	3,534	4,239
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,536	4,245

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,534	4,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,280	2,108
為替換算調整勘定	52	—
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△12
その他の包括利益合計	2,338	2,095
四半期包括利益	5,873	6,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,874	6,341
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,449	4,396
減価償却費	347	404
減損損失	68	13
のれん償却額	41	41
受取利息及び受取配当金	△51	△2
投資事業組合運用損益 (△は益)	△971	△3,121
支払利息	0	5
為替差損益 (△は益)	△104	226
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,529	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	72	40
違約金	—	230
為替換算調整勘定取崩損	52	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,013	784
未収入金の増減額 (△は増加)	△294	765
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△154
預け金の増減額 (△は増加)	△25	△1,834
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△64	7
拠点再編費用引当金の増減額 (△は減少)	—	23
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△386	161
未払金の増減額 (△は減少)	41	△477
前受金の増減額 (△は減少)	41	17
その他	△109	98
小計	2,591	1,625
利息及び配当金の受取額	51	2
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△230	△1,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,411	526
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△215	△21
無形固定資産の取得による支出	△12	—
資産除去債務の履行による支出	△17	△53
投資有価証券の取得による支出	△1,109	△1,601
投資有価証券の売却による収入	3,975	0
関係会社株式の売却による収入	—	83
投資事業組合からの分配による収入	1,848	846
敷金の差入による支出	△287	△4
敷金の回収による収入	18	449
その他	15	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,216	△303
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	7,958
自己株式の取得による支出	—	△3,769
配当金の支払額	△2,300	△2,274
その他	△17	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,318	1,894
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	△36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,333	2,080
現金及び現金同等物の期首残高	84,472	87,018
現金及び現金同等物の四半期末残高	88,806	89,099

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、2020年12月22日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議し、2021年1月21日に売却いたしました。これに伴い、2021年6月期第3四半期連結会計期間において、投資有価証券売却益1,616百万円を特別利益に計上いたします。